

## すべては皆の笑顔のために

## 四街道市レクリエーション協会

四街道市レクリエーション協会は、すべては皆の笑顔のためにをスローガンに少子高齢化社会のなかで、社会の要請である、子育て支援事業、子どもの居場所づくり、地域で高齢者の介護予防教室、サロンなど支援活動を幅広く活動しています。

レクリエーションは、言葉の主旨（目的）を「人々の心を元気にすること」と定義し福祉分野、教育分野、などで幅広く活用されています。

心を元気づけることが今の社会全体の大きな課題で、私たちの周囲を見ても、障がいのある人や加齢にともなう疾患を持つ人など身体を元気にすることに限界のある人たちが多くいます。

仲間とともに身体を動かし、心豊かに生活したいと願う人は多いのです。

すべての人が心を元気に、それを可能にすることにレクリエーションの使命があります。

模索を繰り返し、レクリエーションのとらえ方基本的考え方理念が次第に豊かにされてきました。

四街道市レクリエーション協会のくわしい活動はホームページを見ていただくと幸いです。



四街道市レクリエーション協会 人と人・人と自然の絆づくりをおてつだい

<http://chibaken-rec.com/>



## すべては皆の笑顔のために

レクリエーションは人の心を元気にすることです

『四街道市レクリエーション協会』は、幅広い活動をしていますあそびやレクスポーツを通じて、楽しみながら体と心の健康を守りお手伝いをする団体です。

セミやホタルの自然観察「ナイトハイク」「早春の集い」「クリスマス」などの **主催事業** は、四街道市レクリエーション協会設立の昭和58年から、形を変えつつ引き継がれてきた事業です。

少子高齢化は大きな社会問題となっています。

**依頼事業** として地域から依頼され高齢者の福祉の増進を目的とする『介護予防教室』を支援しています。



歌と手あそびを組み合わせたあそび、ゲームなど簡単なレクスポーツ運動を行い、楽しく脳を活性化しつつも教室は笑顔で溢れています。

**委託事業**として、児童・青少年の健全育成を目的とする、放課後子ども教室『あそびの城』は、平成16年から、文部科学省が提唱した「子どもの居場所づくり」が始まりで四街道市では教育委員会の協力を得て、放課後子ども教室へと引き継がれています。

特に子どもにとってあそびは、心と体の発達に欠かせないものです。あそびには、学びがいっぱいあります。あそびには、子どもの成長に大きな効果があり心を元気にしています。

シャボン玉・けん玉やコマ回し・縄跳び・ドッジボール・レクスポーツ・クラフトなどプログラム形で色々な経験・体験のあそぶ中で自然や社会性・集団行動・積極性・協力すること頑張ることなど多くのことを養っています

これらの**主催事業・依頼事業・委託事業**のほか**参加事業**は、四街道市や公民館等の主催する事業「文化祭」や「ふるさと祭り」「公民館まつり」「通学合宿」など実行委員会に参加し、それぞれの事業を盛りあげています。